第３号様式（第11条第１項）

特定施設設置（使用）届出書

年　　月　　日

　　　富津市長　　　　　様

届 出 者　住所（所在地）

　　　　　　　（郵便番号　　　）

氏名（名称及び代表者の氏名）

この届出　職氏名

の取扱者　　　　　　　　（電話番号　　　）

　　特定施設の設置使用について、富津市環境条例　第34条第１項第36条第１項　の規定により、次のとおり届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 届出に係る特定施設の区分（該当するものを○で囲むこと。） | １　騒音　２　振動　３　悪臭　４　地下水位の著しい低下地盤の沈下 |
| 工場又は事業場の名称 | （電話番号　　　） |
| 工場又は事業場の所在地 | （電話番号　　　） |
| 公害防止担当部課名（責任者職氏名） | （　　　　　　　　　　　　　　　　） | 資本金若しくは出資金又は資産の総額 | 万円 |
| 業種又は作業の種類 |  | 常時勤務する従業員の数 | 人 |
| 主要生産品目 |  | 通常の始業及び終業の時刻 | 　時　分から　時　分まで |
| 用途地域の種類 |  | 敷地面積 | ㎡ |
| 建築面積 | ㎡ |
| 届出済の特定施設又は特定作業（該当するものを○で囲むこと。） | 特　　定　　施　　設 | 特 定 作 業 | 建築確認許可 | 有・無 |
| １　騒　　　音 | １騒音・振動 | 農地転用許可 | 有・無 |
| ２　振　　　動 | 農地転用届出 | 有・無 |
| 設の概要△特定施 | 種類 | 別紙のとおり |
| ３　悪　　　臭 | 構造 | 別紙のとおり |
| ２地下水位の著しい低下地盤の沈下 |
| 使用の方法 | 別紙のとおり |
| ４　地下水位の著しい低下　　地盤の沈下 | ばい煙等の防止又は処理の方法 | 別紙のとおり |
| 工場又は事業場の | 総電力使用量kwh／日 | 総用水量ｍ3／日 | 総排水量ｍ3／日 | 総燃料油使用量Ｌ／日 |
| 添付書類 | (１)　工場又は事業場の事業経歴書(２)　工場又は事業場の組織図(３)　工場又は事業場の敷地の周囲約100メートル以内の見取図 |
| ※審査結果 |  |
| ※受付年月日 | ※受理年月日 | ※整理番号 | ※備考 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　△印の欄については、別紙１から４までのうち該当するものによること。

　別紙１

|  |  |
| --- | --- |
| 騒音に係る特定施設の概要 | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 施設の設置 | 着工予定設置　年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 施設の構造及び使用の方法 | 特定施設の種類 |  |  |  |  |
| 型式 |  |  |  |  |
| 公称能力 |  |  |  |  |
| 数 |  |  |  |  |
| 使用開始時刻 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 |
| 使用終了時刻 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 |
| 騒音の防止の方法 | 別紙のとおり | 別紙のとおり | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 添付書類及び図面 | １　騒音に係る特定施設の構造概要図２　騒音の防止施設（建屋を含む。）の概要図及び設置場所を示す図面３　工場等の敷地内の建物の配置図及び特定施設の配置図 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　特定施設設置（新設）の届出にあっては着工予定年月日を、特定施設使用（既設）の届出にあっては設置年月日を記入すること。

　　３　特定施設使用（既設）の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

　　４　特定施設の種類の欄には、富津市環境条例施行規則別表第１の１に掲げる番号及びア、イ、ウ等の細分類記号並びに施設名を記入すること。

　　５　騒音の防止の方法は、別紙に記載し、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を用いること。

　　６　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　別紙２

|  |  |
| --- | --- |
| 振動に係る特定施設の概要 | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 施設の設置 | 着工予定設置　年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 施設の構造及び使用の方法 | 特定施設の種類 |  |  |  |  |
| 型式 |  |  |  |  |
| 公称能力 |  |  |  |  |
| 数 |  |  |  |  |
| 使用開始時刻 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 |
| 使用終了時刻 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 | 時　　分 |
| 振動の防止の方法 | 別紙のとおり | 別紙のとおり | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 添付書類及び図面 | １　振動に係る特定施設の構造概要図２　振動の防止施設の概要図及び設置場所を示す図面３　工場等の敷地内の建物の配置図及び特定施設の配置図 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　特定施設設置（新設）の届出にあっては着工予定年月日、特定施設使用（既設）の届出にあっては設置年月日を記入すること。

　　３　特定施設使用（既設）の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

　　４　特定施設の種類の欄には、富津市環境条例施行規則別表第１の２に掲げる番号及びア、イ、ウ等の細分類記号並びに施設名を記入すること。

　　５　振動の防止の方法の欄には、防振基礎の設置、防振溝の設置、防振ゴムの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を用いること。

　　６　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　別紙３

|  |  |
| --- | --- |
| 悪臭に係る特定施設の概要 | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 設　置施設の | 着工予定設置　年　月　日 | 年　 月　 日 | 年　 月　 日 | 年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　 月　 日 | 年　 月　 日 | 年　　月　　日 |
| 使用の方法　　施設の構造及び | 特定施設の種類 |  |  |  |
| 規　　 模（面　　 積） |  |  |  |
| 原料の種類及び使用量（貯蔵種類及び貯蔵量） |  |  |  |
| 製品名及び製造量 |  |  |  |
| 処　　理　　の　　方　　法 | 建屋の構造 |  |  |  |
| 集気の方法 |  |  |  |
| 処理施設の型式 |  |  |  |
| 発生の予測される悪臭の種類等 |  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
| 排出ガス量 | 最大　　　Ｎｍ3/分通常　　　Ｎｍ3/分 | 最大　　　Ｎｍ3/分通常　　　Ｎｍ3/分 | 最大　　　Ｎｍ3/分通常　　　Ｎｍ3/分 |
| 排出ガス温度 | ℃ | ℃ | ℃ |
| 排出口の高さ | ｍ | ｍ | ｍ |
| 排出口から敷地境界線までの最大水平距離 | ｍ | ｍ | ｍ |
| 特定施設から発生する廃棄物の種類及び処理方法 |  |  |  |
| 特定施設においてとりうる条例第33条の措置の方法 |  |  |  |
| 及び図面添付書類 | １　悪臭の排出及び処理作業の系統概要説明書２　悪臭の量等に関する説明書３　悪臭に係る特定施設の構造概要図４　悪臭の処理施設の概要図及び設置場所を示す図面５　工場等の敷地内の建物の配置図及び特定施設の配置図 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　特定施設設置（新設）の届出にあっては着工予定年月日を、特定施設使用（既設）の届出にあっては設置年月日を記入すること。

　　３　特定施設使用（既設）の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

　　４　施設の種類の欄には、富津市環境条例施行規則別表第１の３に掲げる番号及びア、イ、ウ等の細分類記号並びに施設名を記入すること。

　　５　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　別紙４

|  |  |
| --- | --- |
| 地下水位の著しい低下及び地盤の沈下に係る特定施設の概要　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（井戸及び揚水機の概要） | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 設　置施設の | 着工予定設置　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 　　　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 |
| 井　　　　　　　　戸 | 名称又は番号 |  |  |
| 深度 | 地表面下　　　　　　　　　ｍ | 地表面下　　　　　　　　　ｍ |
| 口径 | ㎜ | ㎜ |
| ストレーナーの位置（ストレーナーが２以上あるときは、それぞれ記入すること。） | 地表面下　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで | 地表面下　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで　　　　ｍから　　　　ｍまで |
| 揚水機の構造及び使用の方法 | 名称 |  |  |
| メーカー |  |  |
| 定　格　出　力（馬　力　数） | ＫＷ（　　　　ＩＰ） | ＫＷ（　　　　ＩＰ） |
| 吐出口の断面積（吐出口が２以上あるときは、それぞれ記入すること。） | ㎝2 | ㎝2 |
| 最大吐出量 | ｍ3／分 | ｍ3／分 |
| １日の使用時間 | 午前午後　　時から午前午後　　時まで | 午前午後　　時から午前午後　　時まで |
| 季節変動 |  |  |
| 計画揚水量 | ｍ3／日 | ｍ3／日 |
| 地下水の用途 |  |  |
| 地下水を必要とする理由 |  |  |
| 測　　　定揚水量等の | 専用積算電力計設置の有無 | 　　メーカー・型式有（　　　　　　　　）・無 | 　　メーカー・型式有（　　　　　　　　）・無 |
| 量水器設置の有無 | 　　メーカー・型式有（　　　　　　　　）・無 | 　　メーカー・型式有（　　　　　　　　）・無 |
| 地下水位の測定方法 |  |  |
| 地下水位の著しい低下等の防止の方法 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| び図面　　添付書類及 | １　揚水機の構造概要図２　井戸及び揚水機の設置場所を示す図面３　工場等の敷地内の建物の配置図、井戸に係る主要配管系統図及び地下水利用系統図 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　特定施設の設置（新設）の届出にあっては着工予定年月日、特定施設使用（既設）の届出にあっては設置年月日を記入すること。

　　３　特定施設使用（既設）の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。

　　４　地下水位の著しい低下等の防止の方法は、別紙に循環利用、合理的使用等地下水位の著しい低下を防止するためにとり得る措置の方法並びに他工場等及び民家の井戸と最短距離を記載し、これらの井戸へ影響をおよぼした場合の措置等を記載すること。

　　５　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。